

全社員リモートワーク化を支えているもの

ソニックガーデン 社長

倉貫 義人

くらぬぎ よしひと



全社員リモートワーク化による効用

私の経営するソニックガーデンは、2011年の設立当時から在宅勤務に取り組んでおり、地方在住の社員が増えた2016年には東京の本社オフィスを撤廃し、現在は全社員がリモートワーク（テレワーク）で働いている。50人近くの社員が働いているが、地方で暮らす社員が多く全国19都道府県に散らばっている。コロナ以前は、オーストラリアを一周しながらや東南アジアを旅しながら働く社員たちもいた。

それでも業務をしていくうえで不自由を感じることはない。そればかりか、オフィス廃止後の方が生産性は向上し、社内のコミュニケーションは円滑になったように感じている。例えばテレビ会議を活用すれば、会議室の調整や資料の準備が不要になり、さらに録画

や画面共有もできるため、会議が効率化された。チャットやグループウェアを活用することで、情報共有や伝達も効率化された。

そのうえ、勤務地不問で採用できるので、より優秀でフィットする人材を獲得でき、引っ越しや移住などを理由とした離職者がいないなど、人事面での好影響も大きい。もちろん社員にとっても通勤がないことはメリットが多い。コロナ禍においても、私たちの業務には大きな影響はなかった。社員によっては、学校が休校で子育ての負担が増えて生産性が落ちた人もいたが、それはリモートワークとは別の問題だ。

チームワークの重視とオフィスの役割

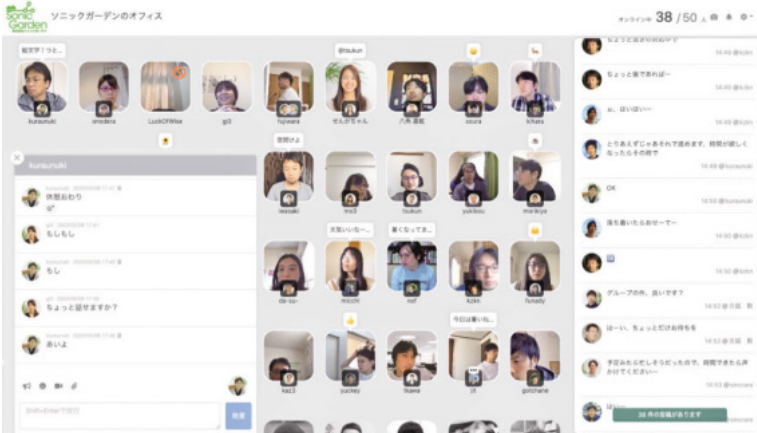
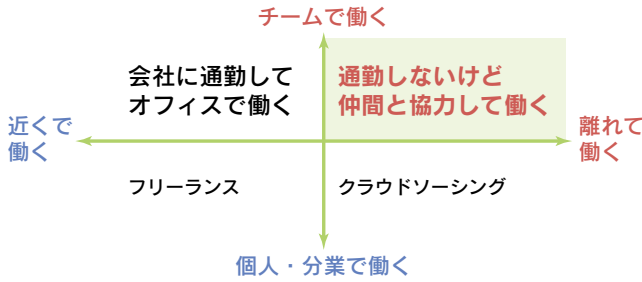
なぜ私たちが全社員リモートワークで働くことができているのか。それはオフィスをな

くした代わりに、オフィスそのものの有用性について改めて考えたからにはほかならない。私たちは全社員が在宅勤務をしているからといって、1人きりで静かに働くような働き方をしていくわけではない。いつでもテレビ会議を活用し、誰かと話をして、相談し合って助け合っている。そうした社員同士のコミュニケーションを大事にしているのは、私たちがチームワークを重視している会社だからだ。リモートワークだからこそチームで取り組むことに意義と価値があると考えている。

チームワークを重視する私たちにとって、オフィスの役割とは一体何だったのか。オフィスにあった座席は自宅の席で代替できる。会議室はテレビ会議のツールで代替できる。紙の資料はペーパーレス化してクラウドに保管する。

座席も会議室も資料置き場も代替できたと

図表 リモートワークとチームワーク
リモートワークでもチームワークが大事



Remotty スクリーンショット

して、オフィスがいらないかというところ、そうではない。オフィスがなくして困るのは、自席での1人作業と、数人で時間を決めて集まる会議の間でやっていたような会話がなくなるからだ。

例えば、隣に座る先輩に「ちょっといいですか」と相談をしたり、部長が席に戻ったタイミングで「ちょっと資料を見てもらえますか」といった、5分話せば解決するような相談がしにくくなったのだ。チャットで

やれるかというところ、話せば5分で解決することを文章にするのは面倒だしコストがかかるかといって相談に対して「来週の火曜日13時から」みたいな会議を設定してしまうのは大げさだ。相談とまではいかないような雑談もオフィスならしやすい。廊下で知り合いに会ったときや、昔なら喫煙室でも雑談して情報共有することもあっただろう。

そう考えると、オフィスの大事な機能とは、非公式で合目的ではないコミュニケーションの場だったのだ。

リモートワークに取り組む多くの企業でうまくいかない原因は、このオフィスの機能を忘れてしまうことにある。そもそもオフィスというものは、当たり前のように昔からあったものではなく、たくさんの人を1か所に集めて効率よく働くために、人類が発明したコミュニケーションツールだと考えている。

オフィスがコミュニケーションだとすれば、固定電話がスマホ

に置き換えられたように、手紙がメールに置き換えられたように、オフィス自体も姿形を変えて、ITによって置き換えることもできるはずだ。

仮想オフィスでのザッソウ
(雑談+相談)で
心理的安全性を高める

私たちが考えたオフィスの代替が「仮想オフィス」というコンセプトだ。「Remotty」という仮想オフィスに、私を含め社員全員が毎朝出勤して働いている。そこでは一緒に働いている仲間の様子がうかがえて、気軽に声をかけて相談したり雑談したりできる。業務で困っても相談するほどでもないことを書き込むことで、誰かが助けてくれたりすることもある。ほかには、プライベートなことや今の気分などちょっとした出来事を書いておくことで、他の人からも様子がわかるので、チーム内の相互理解が進んだり、新しいアイデアが生まれたりする。

そういった雑談+相談のことをあわせて「ザッソウ」と呼んでいる。ハウレンソウ(報告・連絡・相談)も大事だが、これからのチームにはザッソウがあることで、心理的安全性が高まり生産性も向上すると考えている。

ザッソウによる心理的安全性は、リモートに限らずオフィスでも大事なものであったはずだ。もしリモートワークがうまくいかないと悩んでいるとしたら、まずは心理的安全性を高め、信頼関係を築くことから始めてみるとよいだろう。